令和８年(2026 年)１０月
越谷市立病院

第７期中期経営計画・経営強化プランの実施状況（令和７年度実績に係る点検）

第７期中期経営計画及び経営強化プランの令和７年度実績に係る点検結果は、次のとおりです。

評価が「達成（○）」となった項目については目標水準を維持できるよう、未達成（△）となった項目については目標達成に向け改善できるよう、それぞれ取り組んでまいります。

１　第７期中期経営計画の実施状況

(1)　具体的施策の実施状況

第７期中期経営計画における具体的施策の実施状況をまとめました。

項目				R7 目標	R7 状況	評価	実施内容・分析
収益確保対策	ア　収益改善に係るもの	①新たな施設基準等の取得	新たな施設基準等の取得	実施	実施	○	総合入院体制加算３、医師事務作業補助者加算１(40 対 1)、夜間 100 対１急性期看護補助体制加算を取得したほか、患者サポート体制加算も取得した。その他、取得可能な加算を複数取得した。
		②適正な診療報酬請求、査定額の抑制	査定率の目標値 (注)査定率＝査定点数÷請求点数	0.25%	0.25%	○	目標どおり。
		③未収金対策の強化	未収合計額(残債額)	50,000 千円	56,789 千円	△	支払い交渉中の大きな未収金を計上したことで未収金が増えた。
		④ＤＰＣコーディングの推進	ＤＰＣコーディング委員会の開催回数	4 回以上	4 回	○	計 4 回委員会を開催したほか、分析依頼があった際に随時 DPC に関する情報提供を行った。
	イ　収入確保に係るもの	①ベッドコントロールの強化	ベッドコントロールの強化	実施	実施	○	救急受入強化などを実施したが新規入院患者数の目標には届かず、体動困難者の増加等により平均在院日数も目標には届かなかった。 患者支援センターを新設し、退院支援の体制を強化するとともに、病床管理の担当専任者を配置し良化を目指す。
			新規入院患者数	9,400 人	8,548 人	△	
			平均在院日数	12.1 日	12.7 日	△	
		②ＨＣＵ利用率の維持	ＨＣＵ利用率	97.0%	89.4%	△	ＨＣＵへの入室依頼をシステム化することで連携の強化を図る。
		③外来化学療法の充実	外来化学療法件数	2,400 件	2,393 件	○	目標どおり。
		④がん薬物療法体制の充実	がん薬物療法体制充実加算の算定件数	150 件	170 件	○	目標どおり。
		⑤連携充実加算の算定	連携充実加算の算定件数	1,320 件	1,576 件	○	目標どおり。
費用削減対策	ア　費用削減に係るもの	①ジェネリック医薬品の採用及び継続	ジェネリック医薬品の採用率（数量ベース）	85%以上	88.4%	○	目標どおり。
		②診療材料ベンチマークの活用	診療材料費/医業収益	10.6%	9.9%	○	目標どおり。
		③診療材料の同種同効品への切替え	診療材料の同種同効品への切替え品目数	150	158	○	目標どおり。

項目				R7 目標	R7 状況	評価	実施内容・分析
医療の質・患者サービスの向上	ア　医療機能	①救急車受入れ（応需率）の向上	救急車搬入患者数	4,684 人	5,029 人	○	平日日中の「断らない救急」など救急体制の抜本的見直しを行い、初の 5,000 人以上の受入れができた。
		②リハビリテーション機能の体制整備	リハビリテーション機能の体制整備	検討	検討	－	R8 診療報酬改定に向けた動向を注視し、まずは言語聴覚士等の欠員解消に取り組んだ。
		③手術件数の確保	手術件数	3,400 件	3,445 件	○	目標どおり。
		④ハイリスク分娩の積極的受入れと産後ケア事業の拡充	ハイリスク分娩管理加算件数	50 件	54 件	○	産後ケアについては、当院出産以外にも対象を広げた。希望日に個室の空床がなく受入れできないケースもあった。
			産後ケア事業の対象者	30 人	17 件	△	
		⑤産科･婦人科における土曜外来の検討	産科･婦人科における土曜外来	検討	検討	－	同規模公立病院の状況等について調査研究を行っている。
		⑥フットケア外来開始	フットケア指導士による専門的ケア介入	検討	118 件	○	フットケアの研修を修了した看護師が 1 名から 2 名に増え、計画より早期に予防的介入を開始できた。
		⑦手術機材･診療材料の適正管理	手術器材等の適正管理	実施	実施	○	滅菌技師・滅菌技士資格保有者増により、滅菌管理体制の強化及び堅固な安全管理が可能となった。
		⑧R-SUD 制度の活用促進	R-SUD 制度活用品目数	－	1	○	計画より早期に回収及び活用開始できた。
	イ　医療の質	①医療安全の推進	研修会の実施回数	7 回	9 回	○	目標どおり。
		②感染防止対策の充実	合同カンファレンスの実施回数	4 回以上	4 回	○	越谷市保健所と協力し新興感染症訓練として MERS 疑似症患者の対応訓練を実施。さらに、医師会の医療機関向けの感染対策講演会において講義を行った。
		③ＤＸ化の推進	ＤＸ化の推進	実施	実施	○	病診連携予約システム、患者 WEB 予約システムの周知、導入促進に取り組んだ。また、診療材料試供品試用の届出を電子申請で受付できるようにした。
		④クリニカルパス委員会の活動推進	医療者用パス及び患者用パスの適用件数	2,500	2,692	○	R7 に審査体制を整備した。既存パスの見直しや新規パス作成を推進していく。 ※目標について、より実効性ある取組とするためパス作成数から変更
		⑤患者等相談体制の充実	医療機関との面談の実施回数	75	108	○	目標どおり。
		⑥入退院支援体制の充実	入退院支援加算１の算定件数	4,100 件	5,054 件	○	目標どおり。
		⑦口腔ケア･医科歯科連携による口腔内環境の向上	口腔ケアラウンドの実施回数	90 件	104 件	○	R8 から医科歯科連携を一層強化し、院内で迅速な歯科治療ができるよう越谷市歯科医師会等との調整を進めている。
		⑧虐待対応院内組織の強化	院内虐待委員会立ち上げによる虐待対応の強化	検討	検討	－	小児以外への対象拡大の検討を進めている。こども虐待委員会を月 1 回開催し、緊急召集事例への対応等の協議と併せて、DV や高齢者虐待への対応策の検討を行った。
		⑨糖尿病透析予防指導の充実	糖尿病療養指導士の有資格者数	2 名	（栄養科）2 名 （看護部）3 名	○	目標どおり。
		⑩身体拘束最小化への取組	身体拘束率	10.0%	12.6%	△	身体拘束最小化チームが病棟ラウンドを週 1 回実施し拘束率低減に努めている。教育体制強化と多職種連携により身体拘束最小化を目指す。

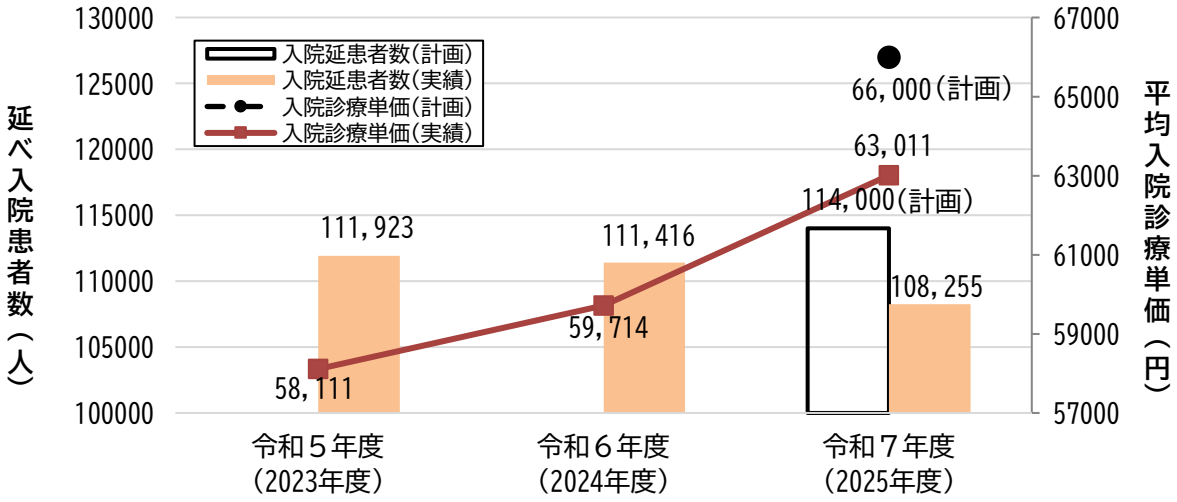
項目				R7 目標	R7 状況	評価	実施内容・分析
医療の質・患者サービスの向上	ウ　連携の強化	①地域医療支援病院の認定取得	地域医療支援病院の認定取得	検討	検討	－	紹介受診重点医療機関の周知、地域医療機関との連携強化に取り組み、紹介率・逆紹介率は大きく向上した。 地域医療支援病院については、課題の整理と検討を行っている。
			紹介率	65.0%	78.9%	○	
			逆紹介率	60.0%	77.6%	○	
		②地域医療連携の推進	地域ホットライン	検討・実施	実施	○	R7.10.20 から地域ホットラインの運用を開始した。
		③埼玉県災害時連携病院としての活動	災害拠点病院・医師会との合同災害訓練等	検討	実施	○	目標どおり。 災害拠点病院及び医師会との通信訓練を実施し、連携強化に努めた。
管理運営体制の強化	ア　経営の安定性に係るもの	①人員配置の最適化	看護師試験の倍率	2.0 倍	1.7 倍	△	看護師の確保に向けた取組として、実習生受入(5 校)、就職説明会実施(3 校)、企業への就職説明会に参加、インターンシップ(2 回)、ふれあい看護体験開催(1 回)など学生への就職支援活動を行ったが、倍率が目標を下回った。 取組を強化するとともに、育児支援制度を活用し育児世代の離職防止に努めていく。
		②働き方改革の推進	超過勤務時間年 960 時間を超える医師数	0 人	0 人	○	目標どおり。
		③人材育成の強化	院内認定コース(スタンダードコース・スキルアップコース)の修了率	85%	81.9%	△	半年間で各職員がそれぞれ研修を受講する中で、体調不良や急な勤務交代で研修を受講できないケースが生じたため、目標どおりできなかった。
		④特定看護師の育成と活用の推進	特定看護師数	6 名	6 名	○	目標どおり。
		⑤臨床研修医受入れの充実	臨床研修医の採用数	8 名	6 名	△	マッチングの段階で定員割れが起きたこと、自己都合により採用予定者が 1 名内定取消となったことが原因と考える。 病院見学依頼を引き続き積極的に受け入れ、現場を見てもらい実際に研修医と直接話す時間を多く作ることで、当院での研修に魅力を感じてもらえるよう努める。また、定員に満たない場合、速やかに二次募集に取りかかる。

(2) 財政計画の検証

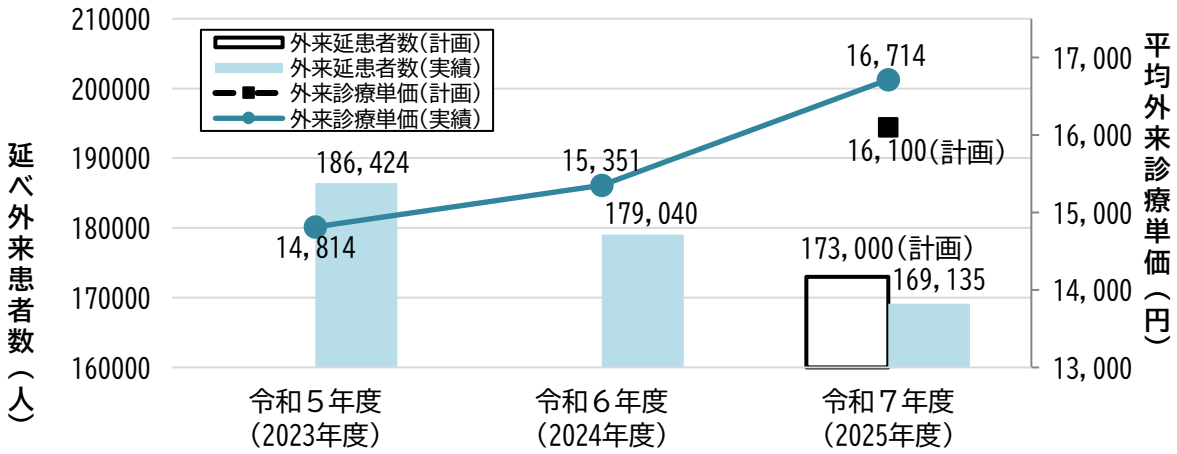
第７期中期経営計画の財政計画について、計画と実績の検証を行いました。

経営指標			令和５年度（2023年度）	令和６年度（2024年度）	令和７年度（2025年度）	評価（目標・実績はR5比）
入院	新入院患者数	計画			9,400人	△ 目標+ 9.7% 実績+ 0.3%
		実績	8,570人	8,962人	8,548人	
	平均在院日数	計画			12.1日	△ 目標− 6.9% 実績− 2.3%
		実績	13.0日	12.4日	12.7日	
	延べ入院患者数	計画			114,000人	× 目標+ 1.9% 実績− 3.3%
		実績	111,923人	111,416人	108,255人	
	平均入院診療単価	計画			66,000円	△だが大幅増 目標+13.6% 実績+ 8.4%
		実績	58,111円	59,714円	63,011円	
外来	外来延べ患者数	計画			173,000人	○ 目標− 7.2% 実績− 9.3%
		実績	186,424人	179,040人	169,135人	
	平均外来診療単価	計画			16,100円	○ 目標+ 8.7% 実績+12.8%
		実績	14,814円	15,351円	16,714円	

計画と実績の比較（延べ入院患者数・平均入院診療単価）



計画と実績の比較（延べ外来患者数・平均外来診療単価）



入院は、診療単価が大きく増加した一方で、患者数は目標を下回りました。平均在院日数が良化していることでベッドの回転がよくなったことに患者の確保が追いついていないと考えられることから、救急の受入れや地域の医療機関からの直通電話「地域ホットライン」を強化することを核に、患者獲得に取り組みます。

外来は、紹介受診重点医療機関となったことなど病診連携が浸透してきた結果、患者数は目標に近い形で減りましたが、診療単価は目標以上に良化しています。

2　経営強化プランの実施状況

(1)　数値目標の状況

経営強化プランの数値目標の状況をまとめました(網掛けは中期経営計画から再掲)。

項目			R7 目標	R7 状況	評価	実施内容・分析
2―4　医療機能や医療の質・連携の強化に係る数値目標	医療機能に係るもの	手術件数	3,400 件	3,445 件	○	目標どおり。
		ハイリスク分娩管理加算件数	50 件	54 件	○	目標どおり。
		救急車搬入患者数	4,684 人	5,029 人	○	平日日中の「断らない救急」など救急体制の抜本的見直しを行い、初の 5,000 人以上の受入れができた。
	医療の質に係るもの	連携充実加算の算定件数	1,320 件	1,576 件	○	目標どおり。
	連携の強化に係るもの	紹介率	65.0%	78.9%	○	紹介受診重点医療機関の周知、地域医療機関との連携強化に取り組み、紹介率・逆紹介率は大きく向上した。
		逆紹介率	60.0%	77.6%	○	
	その他	臨床研修医の採用数	8 名	6 名	△	マッチングの段階で定員割れが起きたこと、自己都合により採用予定者が 1 名内定取消となったことが原因と考える。 病院見学依頼を引き続き積極的に受け入れ、現場を見てもらい実際に研修医と直接話す時間を多く作ることで、当院での研修に魅力を感じてもらえるよう努める。また、定員に満たない場合、速やかに二次募集に取りかかる。
7―1　経営指標に係る数値目標	収支改善に係るもの	入院収益	7,524 百万円	6,821 百万円	△	患者数に大きな課題があることから、新入院患者の確保に向け、地域ホットライン等の取組を強化していく。
		外来収益	2,786 百万円	2,827 百万円	○	目標どおり。
		修正医業収支比率	80.0%	75.0%	△	入院収益が目標を下回ったため。 入院収益増加に向けた取組により改善を図る。
		医業収支比率	86.6%	81.6%	△	
		経常収支比率	92.6%	89.4%	△	
	収入確保に係るもの	新規入院患者数	9,400 人	8,548 人	△	救急受入強化などを実施したが新規入院患者数の目標には届かなかった。 患者支援センターを新設し、退院支援の体制を強化するとともに、病床管理の担当専任者を配置し良化を目指す。
		病床稼働率	82.2%	78.0%	△	目標には届かなかったが、地域医療連携の強化、救急体制の抜本的見直し、7-1 病棟の休止による看護配置の強化等により、令和 6 年度 72.3%から大きく上昇した。 今後もこれらの対策強化に取り組む。
		平均入院診療単価	66,000 円	63,011 円	△	令和 5 年度と比較して約 5,000 円増となった。 入院期間の適正化等による単価増など、さらなる増加に取り組んでいく。
		外来延べ患者数	173,000 人	169,135 人	○	紹介・逆紹介のさらなる推進を図りつつ、適正な水準の維持に努める。
		平均外来診療単価	16,100 円	16,714 円	○	目標どおり。
		ＨＣＵ利用率	97.0%	89.4%	△	ＨＣＵへの入室依頼をシステム化することで連携の強化を図る。
		外来化学療法件数	2,400 件	2,393 件	○	目標どおり。
	経営の安定性に係るもの	超過勤務時間年 960 時間を超える医師数	0 人	0 人	○	目標どおり。
	その他	職員給与費対医業収益比率	64.5%	69.3%	△	人事院勧告等による人件費増のため。収益規模を増やすことで比率を低減させる。
		診療材料費対医業収益比率	25.3%	27.2%	△	脳神経内科において高額薬品を用いる治療が増えたこと等による。収益規模を増やすことで比率を低減させる。

(2) 目標達成に向けた具体的な取組

経営強化プランにおける取組の実施状況をまとめました（網掛けは中期経営計画から再掲）。

項目			R7 目標	R7 状況	評価	実施内容・分析
7－2 目標達成に向けた具体的な取組	新たな施設基準等の取得	新たな施設基準等の取得	実施	実施	○	総合入院体制加算３、医師事務作業補助者加算１(40 対 1)、夜間 100 対 1 急性期看護補助体制加算を取得したほか、患者サポート体制加算も取得した。その他、取得可能な加算を複数取得した。
	ベッドコントロールの強化	ベッドコントロールの強化	実施	実施	○	患者支援センターを新設し、退院支援の体制を強化するとともに、病床管理の担当専任者を配置した。
	ＨＣＵ利用率の維持	ＨＣＵ利用率	97.0%	89.4%	△	ＨＣＵへの入室依頼をシステム化することで連携の強化を図る。
	外来化学療法の充実	外来化学療法件数	2,400 件	2,393 件	○	目標どおり。
	ジェネリック医薬品の採用及び継続	ジェネリック医薬品の採用率（数量ベース）	85%以上	88.4%	○	目標どおり。
	救急車受入れ(応需率)の向上	救急車搬入患者数	4,684 人	5,029 人	○	平日日中の「断らない救急」など救急体制の抜本的見直しを行い、初の 5,000 人以上の受入れができた。
	ハイリスク分娩の積極的受入れと産後ケア事業の拡充	ハイリスク分娩管理加算件数	50 件	54 件	○	産後ケアについては、当院出産以外にも対象を広げた。希望日に個室の空床がなく受入れできないケースもあった。
		産後ケア事業の対象者	30 人	17 件	△	
	手術器材等の適正管理	手術器材等の適正管理	実施	実施	○	滅菌技師・滅菌技士資格保有者増により、滅菌管理体制の強化及び堅固な安全管理が可能となった。
	地域医療支援病院の認定取得	地域医療支援病院の認定取得	検討	検討	－	地域医療支援病院については、課題の整理と検討を行っている。